

もっと住みよいまちへ

だれもが安心して快適に暮らせるよう、区内では都市基盤の整備や福祉の充実など、さまざまな事業が展開されています。また、歴史や文化、豊かな自然を生かしたまちづくり事業も積極的に進めています。今年度、区内で展開される主な事業をご紹介します。



今年4月に完成したばかりの「屯田公園」。楽しそうに遊ぶ子どもたちの歓声があふれます

市内でも早くに開拓の鍬が入り、歴史的に貴重な建物や伝統文化が多く残っている北区。この歴史と文化を生かして愛着のあるまちをつくらうと、区では平成四年度から「ふれあい街づくり事業」に取り組んでいます。

今年度は区制三十周年の記念事業として、「地域伝統芸能合同公演」を開催します。これは、新琴似地区や篠路地区で盛んに行われている歌舞伎など、地域に根付く伝統芸能を一度に楽しむことができるもの。また、区民の自主的なまちづくり活動を支援する「まち



地域住民の手で復活した「新琴似歌舞伎」

北区ふれあい街づくり事業

づくり活動コンテスト」や、地元で採れる野菜を使った「サラダコンテスト」なども予定しています。さらに、北区・歴史と文化の八十八選のPRや新・北区エピソード史の制作、藍染めなどの歴史・文化伝承事業も進めます。このほか、世代間の交流を深めるパークゴルフ大会などのふれあい交流事業や、地域の安全性を高める地区防災ふれあいマップ事業などにも積極的に取り組めます。

篠路アンダーパス

交通量の増加に対応するため、新しく生まれ変わりとつある道道花畔札幌線（篠路通）。年内の開通に向けて、「篠路アンダーパス」と呼ばれるJR札幌線との立体交差部分の工事が、現在、急ピッチで進められています。この開



篠路アンダーパスの完成予想図（コンピューターで作成）